

仕組みづくりヒント事例



「これからの仕組みづくりの5つのヒント」について、参考になる取り組み12事例を紹介します。各事例については、「仕組みづくり」の3つのポイント（チーム/プロセス/ツール）の特徴、取り組みを実施するに至った「背景・目的」、「実施内容」について参考になる点を記載しました。

仕組みづくりポイント

- ①チーム（体制）、②プロセス（手順）、③ツール（手法）のどのような点が参考になるかを示しています

「取り組み」の内容、「取り組み主体」について示しています

取り組みを実施するに至った「背景」と「目的」を示しています

実施した内容の「ねらい」について示しています

実施した内容について工夫したり、留意した「実施のポイント」を示しています

実施したことで分かった「効果」と「今後の課題」について示しています

参考となる資料や取り組みの様子（写真）を示しています

A 1 世代を超えた声・潜在的な声を把握しよう

[参考事例1] 暮らしと地域活動に関するアンケート

取り組み主体：横内連合自治会

背景・目的

自治会活動、地域活動への参加者や協力者が減少かつ固定化している状況を鑑み、地域の様々な世代の人達が暮らしや地域活動について感じていること、地域活動への参加・協力していく気持ちを持っているかを改めて聞いて、これからの活動・行事、協力体制を検討するための基礎資料にしていきます。

実施内容

ねらい

地域活動への関心度や世代の違いにより意識や参画の可能性に差異があるかを把握し、今後の情報発信の手段や、活動の見直し点を共有する。

実施のポイント

- ① アンケート対象
中学生以上の世帯全員
- ② アンケート設問の意図と活用
 - 情報発信・周知
→効果的なツール、オンライン活用確認
 - 地域の認識（良いところ）
→活かす資源／資産の確認
 - 地域活動への関与レベル、満足度と重要度
→これから必要とされる活動のチェック
 - 地域活動への参画の可能性
→担い手の発掘

効果と今後の課題

- 団体役員だけでなく、地域活動に関心が少ない人たちや若い世代の声を把握できた。
- ちいき情報局などのHPでの活動紹介と合わせてアンケートを継続的に実施することが課題になる。

横内地区 暮らしと地域活動に関するアンケート

＜アンケートのお話し＞
人口減少と少子高齢化が進む中で、コロナ禍の長期化により、日常生活や働き方も変化し、地域活動の自粛、交流機会の減少で不感や不安を感じている方も多いかと思えます。
そこで、横内地区での暮らしの支援や地域活動について率直な声をお聞きし、みなさんと一緒にこれからの横内地区の地域づくりを考えていくためのアンケートを実施することになりました。
今回のアンケートでいただいたご意見は自治会や地域活動団体の活動・行事を企画・実施していくうえでの参考にさせていただきますので、ご協力お願いいたします。
横内地区連合自治会

アンケートの依頼文

アンケートの概要

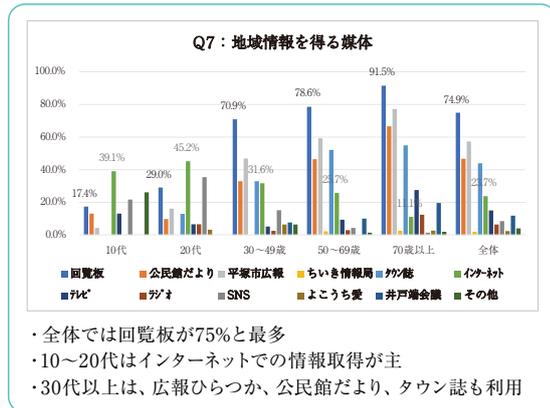
- ① アンケート内容
 - 属性：性別・年齢／職業／出生地／日常の交通手段
 - 情報入手方法
 - 地域の自慢
 - 暮らしの中での不安や困っていること
 - 住み続けたい意向
 - 地域活動への関心や参加希望／活動の満足度・重要度
 - これから行ってみたい活動、これなら協力できる活動
 - 横内地区が将来どんなまちになったら良いか
- ② アンケート対象
 - 幅広い世代の地域住民（中学生以上）
 - ・隣組長世帯 245世帯
 - ・各種団体役員世帯 182世帯
 - 回収数
・472票 回収率29.5%

アンケートの概要

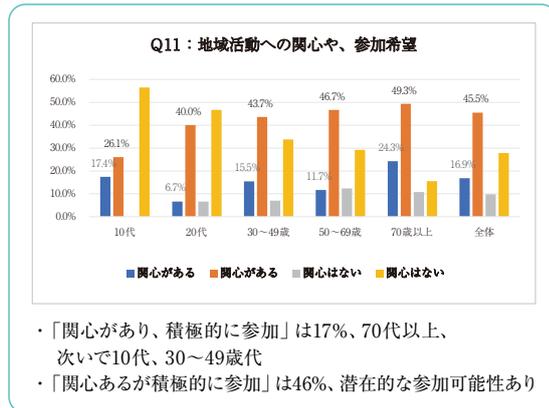
仕組みづくり Point

- | | | |
|---|--|---|
| <h2>1 チーム (体制)</h2> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 連合自治会中心に各種団体の協力 | <h2>2 プロセス (手順)</h2> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 多世代に聞く ☑ 結果を共有する ☑ 目標を掲げる | <h2>3 ツール (方法)</h2> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 住民アンケート ☑ 見える化 (グラフ化) ☑ HPからの発信 |
|---|--|---|

見える化・説明の工夫 (結果のグラフ化)



地域情報を得る媒体



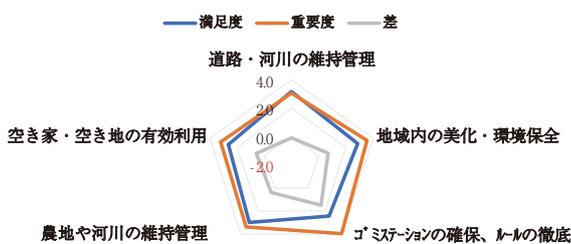
地域活動への関心や参加希望

問15) 横内地域様々な活動・事業についてのあなたの満足度 (今の取り組みに満足しているか)、重要度 (これからはこれが大切である) を、それぞれ5段階で評価してください。

評価項目	満足度			重要度		
	満足	やや満足	やや不満	重要	やや重要	あまり重要ではない
1. 地域内の付き合いについて	○				○	
2. 道路や河川の清掃など、地域内の美化・環境保全について		○			○	
3. 防火・救命・避難訓練・連絡体制など、防災・消防活動について		○			○	
4. 見回りなど、防犯・交通安全活動について		○			○	
5. 公園や公民館などの維持管理について		○			○	

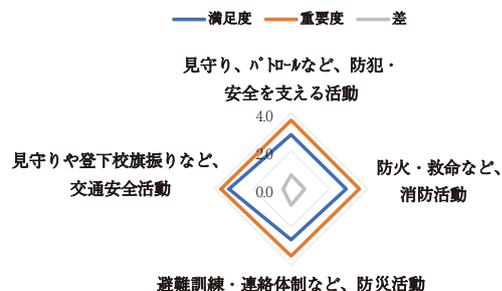
※左の回答例のように、項目ごとに「満足度」と「重要度」の欄に1つずつ○をつけてください。

Q16: 環境保全・美化 (全体)



・「ゴミステーション確保/ルール徹底」の満足度は低く、重要度は非常に高い

Q16: 防犯・防災 (全体)



・全体として、重要度と比べると現状の満足度は低い

地域の活動・事業についての満足度・重要度

A 1 世代を超えた声・潜在的な声を把握しよう

[参考事例] 2 幅広く住民の声を聞くアンケート

取り組み主体：LaLa湘南平塚commons自治会

背景・目的

LaLa 湘南平塚commons自治会は多少距離が離れたマンションと戸建て住宅から構成され、それぞれの住環境や年齢層に差があることから活動の内容や方法を工夫しています。イベントを中心に活動していますが、高齢者層の参加が少ないことなどの課題もあり、これらの課題を解消して誰でも参加できるような活動を目指しています。

実施内容

ねらい

地域住民の声を幅広く聞くために、イベントに併せて簡単なインタビュー・アンケートを実施し、今後の自治会活動へ反映する。

検討・実施のポイント

- ① 調査者及び回答者の双方に負担を掛けない
→自治会イベント開催に併せて実施(写真1)
- ② 回答者には気軽に回答してもらう
→設問は3つ、回答は選択肢の中からこれと
思うものにシールを貼付ける方式(図1)(写真4)
※街角インタビューで見かけるもの
- ③ アンケート内容は身近で簡単なものに
→「この場所の良いところ」「必要と思われること」
などについて、直感で答えられるもの(図1)
- ④ 幅広く多くの人に答えてもらう
→イベント会場にアンケートブースを設け、説明・
呼び込み者を用意(写真2)(写真3)
- ⑤ 結果のまとめ
→グラフ化、見やすくして関係者と共有(図2)



(写真1) 「防災&ミニレク」イベント風景



(写真2) アンケート調査風景

1. 住まい地域の良いところは何ですか？
回答選択肢：8
2. 地域として必要と思われるのは何ですか？
回答選択肢：7
3. 自治会活動についてお聞きします。
回答選択肢：3

(図1) 設問と回答選択肢

仕組みづくり Point

1 チーム(体制)

- ☑ イベント時に気軽に声を聞く

2 プロセス(手順)

- ☑ 多世代に聞く
- ☑ 結果を共有する
- ☑ 目標を掲げる

3 ツール(方法)

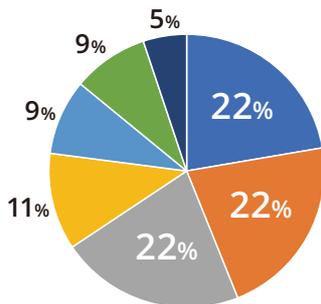
- ☑ インタビュー/シール表示
- ☑ 見える化(グラフ化)
- ☑ HPからの発信



(写真3) アンケート調査風景



(写真4) アンケート調査結果



【回答例】 2. 地域として必要と思われることは何ですか？

- 子ども対応 (見守り、遊び場所、交流機会など)
- 防災 (訓練や避難場所など)
- 安全・安心 (登校の旗振り、パトロールなど)
- 健康・交流 (軽スポーツやゲームを通じた住民のふれあいなど)

子ども対応 (22%)、防災 (22%)、安全・安心 (22%) が同率でトップ3である。安全・安心の内容としても子どもに関するものも含まれており、地域の関心事としては、子どもの安全・安心が最も大きいことが分かる。高齢者対応 (5%) が7つの選択肢の中で最も比率が低かった。

(図2) 結果のグラフ化

👉 効果と今後の課題

- 簡単な方法であり、調査者及び回答者の負担が少ない。
本事例の場合：準備1日、実施1日、まとめ1日 → **簡単な調査方法に向いている**
- 本例では回答者の大部分がイベント参加者であるので、データに偏りが出る可能性がある。 → **詳細、多設問には向かない**

協力者・団体：平塚市協働推進課、東海大学、湘南NPOサポートセンター